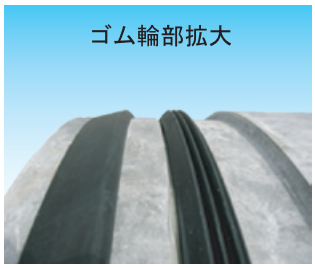
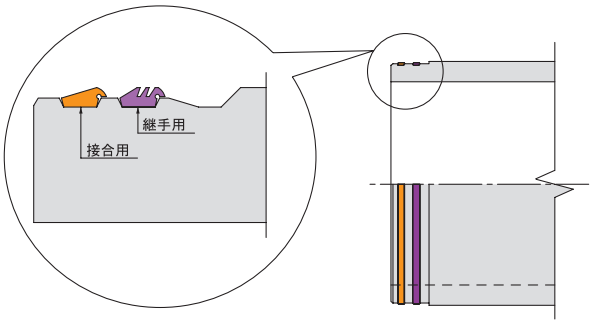
特　徴

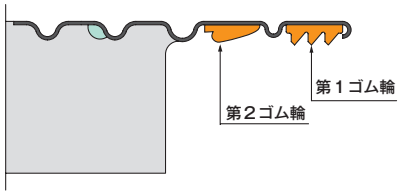
継手部に異なる２種類のゴム輪を採用
継手用と接合用に機能を分担させることにより、それぞれの機能を向上させています。





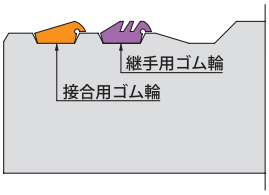
コンクリートのゴム溝にゴム輪を固定したことにより、推進中にゴム輪がずれません。
接合用ゴム輪の採用により、ゴム輪がめくれることなくスムーズに接合できます。

ゴム輪の取付け位置



その他の管（NS管）

※ 小口径の場合は、第一ゴムのみ貼り付ける



Wジョイント管（ENW）

※ ２種類をコンクリートの溝に張り付ける

水密性

継手用ゴム輪の採用により、さらに水密性が向上しました。
万が一漏水した時は、止水剤を管内からゴム輪間に注入することで経済的に対応できます。

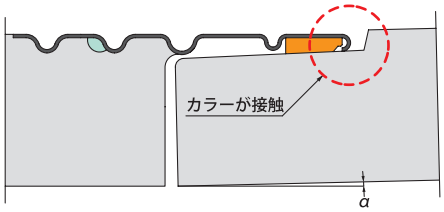
耐震性

ゴム輪の取り付け位置で、大きな抜出し長が確保できるため耐震性が向上します。

多用途

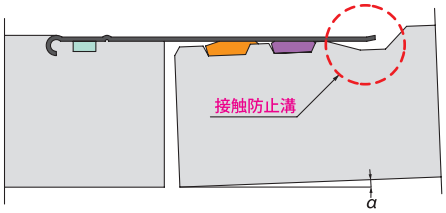
継手性能の向上により、曲線施工・長距離施工・地下水圧の高い所の施工に適しています。
急曲線施工には 1/2 管及び 1/3 管などを使用することにより対応できます。

曲線推進の対応



その他の管（NS管）

折れ角度　α（φ700の場合 1°19'）



Wジョイント管（EW）

折れ角度　1.6・α（φ700の場合 2°13'）